

● 診療科の特色

1. 当科は平成 11 年 7 月より開設された部門である。

当院では、日本形成外科学会専門医 2 名が診療を行っている。また日本形成外科学会による認定施設となっており、形成外科専門医資格獲得のための研修施設として形成外科医の育成に取り組んでいる。診療の中心は小児先天異常となっているが形成外科のほぼ全般にわたる診療を行っている。またレーザー治療も積極的に行っており、各種のあざ、血管腫等に対し色素レーザー、Q スイッチルビーレーザー、CO2 レーザーを用いて治療を行っている。小児であざの面積が広範囲の場合は入院、全身麻酔下での治療も行っている。

● 入院診療実績

1. 主要手術 年間手術件数 671 件

	手術名	件数
1	1. 外傷	35
2	2. 先天異常	65
3	3. 腫瘍	172
4	4. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	10
5	5. 難治性潰瘍	10
6	6. 炎症・変性疾患	11
7	7. 美容(手術)	0
8	8. その他	20
9	9.レーザー治療	348
10	合 計	671

● 研究業績

1. 学会、研究会

- 1) 巨大色素性母斑に対する CO2 レーザー照射方法(チェッカーフラッグ法)の経過について  
末延耕作  
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会 2019 年 5 月 16 日
- 2) 当科における眼窩悪性腫瘍切除後の再建症例 21 例の検討  
山崎 由佳  
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会 2019 年 5 月 15 日～5 月 17 日
- 3) 20 年目を迎える当院形成外科の傾向と問題点について  
末延耕作  
第 8 回川崎医科大学形成外科学教室同門会学術集会 2019 年 6 月 2 日